

千葉県松戸保健所における医療的ケア児に関する支援について

1. 千葉県小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

目的：慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ必要な情報の提供及び助言を行う

令和6年度のトピックス

●「病態栄養教室」（講演会）

令和6年8月9日に潰瘍性大腸炎やクローン病の方向けの講演会を開催しました。また、講演会の様子をオンデマンド配信しました。講師は東京医科歯科大学病院 病院長参与 斎藤 恵子先生をお招きし、「潰瘍性大腸炎・クローン病の食事療法」として、食事の選択方法や周りへの協力の仕方についてお話いただきました。オンデマンド視聴の方を合わせて84名の参加がありました。

●地域支援者研修会

10月30日に未就学児の支援をテーマにし、児童を受け入れる施設、訪問診療、訪問看護・介護等支援者、行政職員等を対象とした研修会を実施しました。また、研修会の様子をオンデマンド配信しました。研修会では、児童発達支援事業所や小児在宅ケアを行う専門家から医療的ケア児やその家族、関係機関への取り組みや、松戸市・流山市・我孫子市の保育課から各市の医療的ケア児に関する保育園受け入れ体制についてご報告いただき、管内での医療的ケア児の支援の現状を共有しました。オンデマンド視聴の方を合わせて78名の参加がありました。



木村先生の講演資料

学校・保育園でのカーニバル挿入指導の様子

〈研修会の内容〉

○松戸保健所 地域保健課

「小児慢性特定疾病受給者アンケートから見た地域の課題について」

○松戸市 流山市 我孫子市 保育課

「管内各市の医療的ケア児に関する保育園受け入れ体制について」

○一般社団法人 和音 理事 木村 和子氏

「児童発達支援事業所での支援の実際 ～医療的ケア児の家庭から社会へのはじめての一步～」

○あおぞら診療所新松戸 看護師 森泉 智子 氏

「小児在宅ケアの専門家からの報告 ～安心・安全に過ごすための第一歩に寄り添う～」



森泉先生の講演資料

●ニュースレターの発行

今年度は病態栄養教室、地域支援者研修会の様子や、11月にほわほわの森に施設見学に伺った際の様子をニュースレターに掲載し、小児慢性特定疾病受給者の方々に配布する予定です。松戸保健所のHPでもご覧いただけます。